



# Koryo 陵 雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向三丁目2番6号 / 電話 0178-44-3866 / FAX 0178-48-9077  
<https://kouryo-high-school.com> / Eメール kouryo@chibagakuen.ac.jp

## 先輩に学び繋ぐ徒打毬

### 4年ぶりの開催



八戸三社大祭中日の8月2日(水)、加賀美流騎馬打毬の試合の間に行われる競技「徒打毬」が4年ぶりに行われた。本校の有志たちが徒打毬に参加し始めたのは1992年から。だが、この3年間は新型コロナウイルスの影響もあり、祭りの中止で本校生徒たちも徒打毬に触れることがなかった。今年の祭り開催は喜ばしいことだが、徒打毬の経験者が全くいない状況に不安もあった。それでも、本校卒業生が会長を務める八戸徒打毬会のメンバーが指導し、練習に励んだ。練習は、夕方時間帯を設定したが今年も夕方でも動いていると汗が吹き出る暑さ。「礼に始まり礼に終わる」をモットーに、ルールを覚えることから始める。穂杖の扱い、実戦形式と限られた練習時間に集中した。迎えた本番、慣れない草履に苦戦しながら、「やーっ」の掛け声で練習したシュートを繰り返す。会場の長者山新羅神社に集まった観客たちから温かい拍手と大きな声援をいただいた。地元で伝統継承に本校生徒たちの顔は誇らしげだった。

### ～地元の伝統 未来へ～



徒打毬の基本ルールは、紅白(今回は4人ずつ)に分かれ、杖で毬を奪い合い、毬門に放るチーム対抗戦。放った毬が自陣の門をノーバウンドで通れば得点となり、4点先取で勝利。自陣の門を通った毬が門下に置かれるので、毬の数で得点に分かる。最初の点が入れば敵への妨害が可能。ルールを理解して見るのも楽しいし、ルールを知らなくても若者たちの攻防は、見ている人たちに元気を与える。

《紅組》  
 大久保幸都喜(3年・長者中学校出身)  
 菱事 弘季(2年・階上中学校出身)  
 梅内 大翔(1年・名川中学校出身)  
 松川 将也(1年・白山台中学校出身)

《白組》  
 船田 悠成(2年・第一中学校出身)  
 富田 優輝(1年・飯館市原揚中学校出身)  
 二部 真斗(1年・第一中学校出身)  
 松川 和馬(1年・白山台中学校出身)

《菱事弘季さんの感想》  
 全員が未経験者で、全く何もできないところからのスタートでした。それでもOB・OGの方々、堀川先生から指導してもらい、皆、上達していききました。本番、緊張はしませんでした。会場には思った以上にお客さんがいて、皆さんが楽しみにしているのだと実感しました。伝統ある徒打毬に参加できていい経験になりました。来年も参加したいです。

※練習の様子は7月24日(月)付のテリ東北に掲載、当日の様子はテレビでも紹介された。



### おまつり広場

4年ぶりの開催となった三社大祭。本校太鼓部が淀山車組に参加し、祭りの音色を響かせた。また、8月3日(木)に市庁前で行われたおまつり広場に、太鼓部、軽音楽部が初出演。猛暑の中、両部とも2曲披露し会場に集まった観客たちから惜しみなない拍手と声援が送られた。中には一緒に歌を口ずさむ方もおり、ドラムとボーカルを担当した石岡真衣さん(3年・小中野中学校出身)の軽快なトークで大いに盛り上がった。

▲撮影 写真部 山田 梅禾(2年・明治中学校出身)



### 太鼓部三社大祭参加



8月末、文化祭ポスター展が開かれ、今年度のポスターが決定した。全校10点の作品の中から投票

### 文化祭ポスター展

で選ばれたのは、前田虎次朗さん(1年・湊中学校出身)の作品。ポスターを2日間で完成させたという前田さんは「採用されて嬉しいです。テーマの『青春』に合うように作成しました。苦労したのは雲の表現です」と語り、笑顔を見せてくれた。



### サッカー部武者修行

今夏、サッカー部は2部・3部リーグ戦、八戸・十和田フェスティバル、ルーキース8と様々なチームと試合・交流を重ねた。中でも8月9日(水)から14日(月)までの静岡遠征では、県外の強豪チームと交流試合、練習を行った。この遠征では、顧問の山本先生の母校静岡学園とも対戦した。交流を通して、サッカー以外にも行動や礼節など多くを吸収してきた部員たち。充実した夏を過ごした彼らの今後の躍進に期待。

9月1日(金)

# レッツ・スポーツイ講座

## フィットネスコース

1年 柄本 百絵(第三中学校出身)

私は、フィットネス講座で初めて、器具を使って体を動かしました。初めて見るもの、見たことあるけれど使ったことがないものもあり、緊張していましたが、いろいろな人たちに教えてもらいながら挑戦することができました。一番大変だったのは、足の筋肉を鍛える器具でした。思ったよりも足の力がなくて驚きました。自分ではびくともしなかった器具を、友だちが軽々とやっていると、新しい一面を見ることができました。ダンスやボクシングの動画を見ながら体を動かすことにも挑戦しました。リズムに合わせてやるのは難しかったです。繰り返すうちにリズムに合わせて動くことができました。また、ランニングマシンでは、とても楽しく走ることができました。そして何より多くの人がジムに来ていて、ジムの方が効率が良いと感じました。

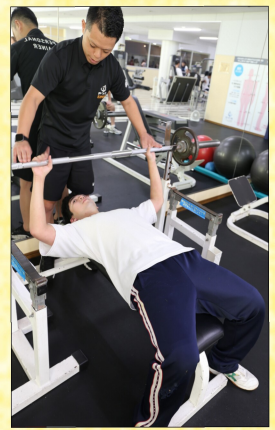


1年 清水 菜名(白銀中学校出身)

「ジム」と聞くと、最初は若い人たちが通っているイメージを持っていました。しかし、実際に行ってみると年配の方々がたくさんいて、器具の使い方がわからない私たちに優しく教えてくれました。私が個人的に楽しかったのは、ボクササイズです。講師の方が、同じ部分を何度か踊って見せてから次にいくので、分からない箇所や間違ったところもしっかり踊ることができました。

2年 松倉 滯(第一中学校出身)

私たちは男女に分かれて、エクササイズとマシントレーニングを行いました。まず、マシントレーニングからスタートしましたが、思った以上に、フィットネスは大変でした。しかし、疲れる運動も友だちと話しながらできたので楽しく活動できました。室内は冷房が効いていても汗が止まらず、髪までびしょりでした。次にボクシングの動きを取り入れた運動を40分行いました。始めてすぐ、汗が顔をつたっていききました。午後、マシントレーニング、ダンスと体を動かしました。疲れましたが、まだやりたいという気持ちになりました。



# ゴルフコース

1年 目時 静音(十和田第一中学校出身)



今回、ゴルフをやってみて力加減や技術を磨くことは、すごく難しいと思いました。スイングの時、両方の腕が曲がってしまっていたので、腕の曲げ伸ばしの仕方を先生に教えてもらいました。すると、少し上手くなりました。手が痛くてきつかったのですが、今度やる時には遠くまで飛ばしたいです。

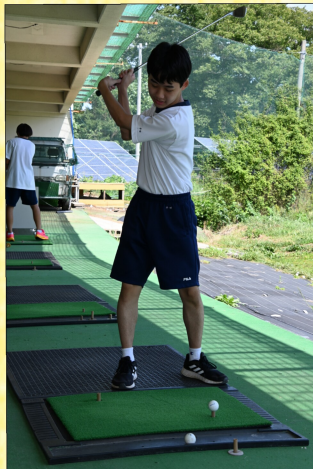
2年 若林 青空(長者中学校出身)

2回目のゴルフ体験となりました。午前はグループの人と練習しながらニアピンコンテストとドライビングコンテストをしました。最高で25ヤード飛びました。ニアピン対決は、距離感やボールコントロール難しく、自分にはセンスがなかったです。午後は、少し練習して希望者による全体でのコンテストが行われました。私は飛距離を争うコンテストに挑みました。緊張しすぎて全然打てなかったです。記録は、100ヤードくらいでした。皆と楽しく活動できたこともあり、ゴルフに少し興味を持ちました。こんなにゴルフを楽しいと思っただけは初めてかもしれません。次はプライベートでやってみようと思います。



3年 宮古 理人(湊中学校出身)

初めて挑戦するので、「ゴルフの面白さを見つける」ことを目標にしました。ゴルフは、クラブの持ち方が想像とかなり独特でした。ゴルフクラブもいくつ種類があり、数字は角度を表しているそうです。実際にやってみると、全く飛ばせませんでした。力の入れ方やフォームなどが分からなくなるときの悩みもありましたが、周りに聞きながらやってみると、徐々に飛距離も伸びていきました。150ヤードを飛ばすという目標も達成することができました。最後のコンテストを皆が楽しそうにやっていたのをみて、自分も楽しめました。またやる機会があれば挑戦したいと思いました。



《ニアピンコンテスト》

女子の部 3年 大澤 亜矢(第二中学校出身)

男子の部 2年 板橋 宙(長者中学校出身)

《ドライビングコンテスト》

女子の部 2年 阿部 美佳(是川中学校出身)

男子の部 1年 前田 虎次朗(湊中学校出身)



# トラランポリンコース

1年 田中 琴花(白山台中学校出身)

今回の講座で、トラランポリンの楽しさを学ぶことができました。最初は、あまり自信がなくて少し怖く感じましたが、講師の方の丁寧な説明とお手本を見せてくださったおかげで上手に跳ぶことができました。トラランポリンの上ではバランス感覚が大切なようで、コツを掴むのが難しかったです。上手に跳んでいる人がたくさんいたので、その人たちの跳び方を真似してみると上手にできてとても嬉しかったです。先輩方が、トラランポリンを下るときに階段を踏ませてくださいました。私もそのように心配りができるようにになりたいと思いました。今回は、自分から積極的に活動することができたので、次回は積極的に行動できるようにしたいと思います。



2年 佐藤 翔聖(第一中学校出身)

人生初めてのトラランポリンで最初は怖いよりわくわくしました。トラランポリンに乗った瞬間、体が宙に浮いているような不思議な感じでした。足の動き、力で跳ぶのではなく腕の動きで跳ぶことを初めて知りました。見ていると簡単そうに思いましたが、意外と難しかったです。腰落ちや抱え込みなど教えてもらいましたが、いざやってみるとやはり恐怖心が勝ち、脚が曲がってしまいました。でも、思いきってやると立つことができました。だから、バンドでステップに立つときにも、案外思い切ってやると案外うまくいくのかなと感じました。高く跳ぶほど、空を飛んでいるようだったし、鳥になった気分が叶いそうなお気持ちになりました。

3年 庭瀬 陽希(種市中学校出身)

私は、初めてトラランポリンをしました。高いところが苦手なため、時々気持ちが悪くなることもありましたが、講師の方がとても親切に教えてくださったおかげで、安心して参加することができました。トラランポリンは体力、バランス感覚が鍛えられるところが良いと思いました。跳んだあとの感覚がふわふわした感じで楽しかったです。熱中症対策で午前のみの活動となりましたが、初めてのトラランポリンに挑戦できて良かったです。

3年 坂田 香音(三沢第二中学校出身)

1年生のとき以来、2度目の挑戦となりました。最初は、安全を心がけ楽しむという目標を掲げ、途中講師の方の話や動きを見聞きしながら真似てみるという目標を追加しました。2度目ということもあり、体が覚えていた技術もありました。何回か失敗もありましたが、うまく跳ぶことができました。腕を回すだけでも十分跳ねるので、脚に力を入れないように跳ねるのが大変でした。今回は短い時間でしたが、男子はトラランポリンを運んだり力仕事を主にやってくれて頼りになると感じました。講師の方は、どうすれば上手に跳べるのか一人一人にアドバイスをしてくださいましたし、よく見てくれることがわかりました。多くの技をやることはできませんでしたが、楽しく新しいことにも挑戦できたのでいい思い出になりました。

